

# 工事写真報告書

工事番号 平成 27 年度

工事名 O 様 邸

工事箇所 屋根・外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 遠賀郡 遠賀町 田園

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム 株式会社



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

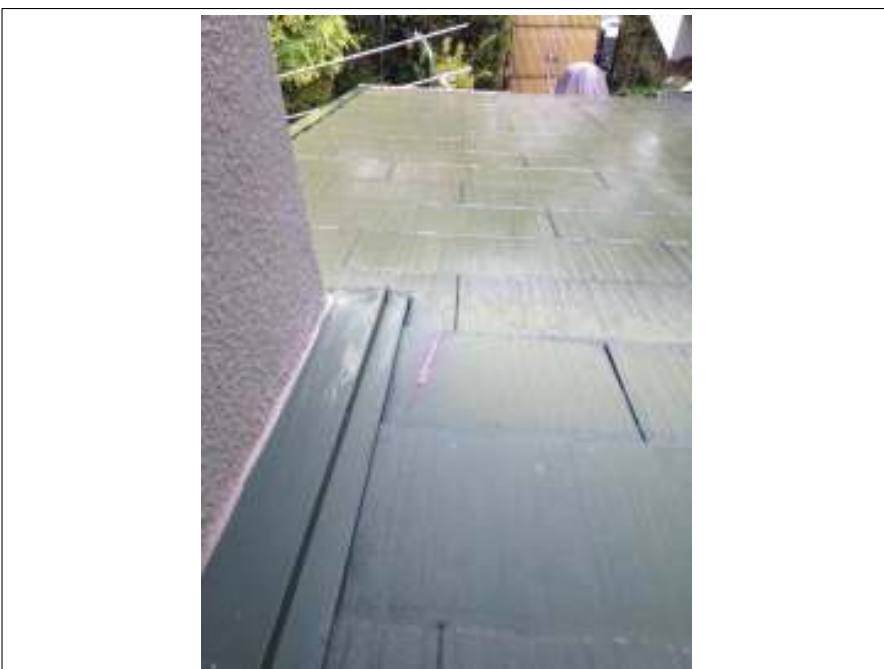
---



## 屋根

この素材はセメント:アスベスト(又は<sup>ル</sup>繊維)が85:15で作られています。

劣化し割れや反りがひどくなり葺き替えとなると、アスベストが入っているので処分費がかなりかかりますので、早めの塗装と維持をお勧めをします。



## 屋根 クラック

同上



## 屋根 クラック

同上



### 屋根 クラック

屋根材は水を吸って乾いてを繰り返し替えていますが、屋根塗装の耐久性の低下やクラックが多くなると屋根材が水を多く含んでしまい、カビやコケの発生や屋根材の腐食につながりますので、早めの塗装をお勧めします。



### 屋根 カビ・コケ発生部

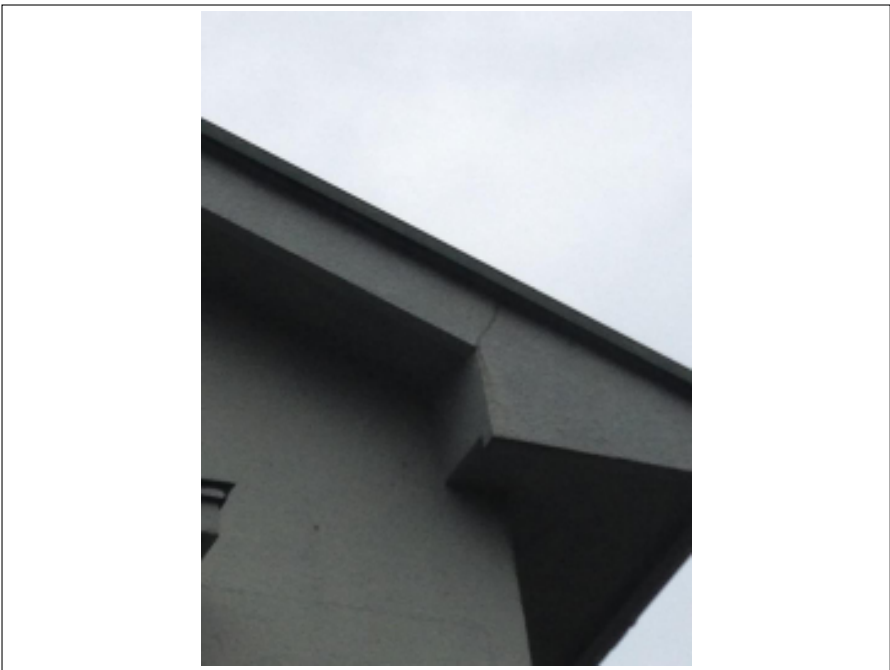
カビの発生が見られます。カビの上にくら良い塗装をしても、カビの根が残っている以上塗膜を突き破って表面化してきますので、カビの根を抑える必要があります。



### 屋根 カビ・コケ発生部

#### 対処方法

いくら高圧洗浄をかけても、カビの根が残ってしまいますので、カビの根を殺す防カビ下塗りをおこない、下塗り・上塗り二回の三層四工程をおこないます。



### 破風

経年劣化しています。  
クラックも見られますので、クラック補修等の下地処理をおこない塗装をしていきます。



### 軒天

経年劣化しています。  
この部分は通気性の良い軒専用の塗装をしていきます。



### 縦樋

こちらは塩ビ素材になります。  
劣化が進むと割れが生じ、交換が必要になってきますので、こちらは塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



ダクトカバー

同上



軒樋

カビの発生が見られます。

この部分にも防カビの下塗りをおこ  
ない塗装をしていきます。



雨戸

この部分は鉄、スチール素材になり  
ます。

劣化するとサビが発生してきますの  
で、塗装が必要です。



## 雨戸

### 対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



## 小庇

### 同上



## 玄関柱

旧塗膜が剥離をおこしています。このまま塗装しても旧塗膜から剥がれる恐れがありますので、密着の悪い旧塗膜をケレン作業で除去し専用の下塗り・上塗りを行います。



### 基礎 クラック

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



### 基礎 クラック

0.3mm以上のクラックはシーリング等の補修が必要です。



### サッシ廻り ライン出し

前回の塗装の養生の際、しっかりできていない為ライン出しができてない所があります。

塗装のライン出しは仕上りに大きく影響がでます。



### チョーキング現象

---

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

---

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。

---



### 外壁 ピンホール

---

前回塗装施工時に、空気を巻き込んでしまい、乾燥過程でその空気が抜ける際に出来る穴のことです。

---

この現象も、防水効果を損なうことになりまますので、下地処理下塗りをしっかりおこなう必要があります。

---



### 外壁 劣化部

---

旧塗膜の劣化が見られます。

---

この状態になると表面から水や湿気を直接吸い込んでしまい、躯体の痛みや外壁の腐食につながりますので、早めの塗装をお勧めします

---



**外壁 劣化部**

旧塗膜が劣化し、塗装表面に細かなヒビ割れが見られます。

この状態も表面から雨水や湿気を吸い込む状態になり、外壁材の痛みや躯体の劣化つながりますので早めの塗装をお勧めします。



**外壁 劣化部**

同上



**外壁 クラック部**

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや建物の寿命につながりますので、シーリング等で補修ををおこない塗装をしていきます。



外壁 クラック部

0.3mm以上のクラックはシーリング等の補修が必要です。

---

---

---

---

---

---

---



外壁 クラック部

同上

---

---

---

---

---

---

---



外壁 クラック部

同上

---

---

---

---

---

---

---



**外壁 カビ発生部**

カビ・コケ・藻の発生が見られます。さらに進行すると外壁の腐食や中の痛みにもつながります。  
また高圧洗浄をかけて良い塗装をしても、カビの根が残っていますのでカビが表面化してきますので、カビの根を止める必要があります。



**外壁 カビ発生部**

**対処方法**

いくら高圧洗浄をかけても、カビの根が残ってしまいますので、カビの根を殺す防カビ下塗りをおこない、下塗り・上塗り二回の三層四工程をおこないます。

作成者：戸高 勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

